

理学療法士臨床判断フローチャート 表現正誤表

我々は用語表現の適切な使用を心掛けます。理学療法に関して「訓練」という言葉を使いません。従って、本書の中の「訓練」という表現を下記のように訂正致します。(奈良, 松尾)

頁	行	誤	正
33	18-19	急性期イコール機能訓練, 回復期イコールADL訓練	急性期は機能回復プログラム, 回復期はADLトレーニング
37	3	訓練	教育
91	下から6, 301 (荷重), 93 図1つづき (荷重) (歩行), 99 図2つづき (荷重), 99 図2つづき (歩行), 147 8, 303 (起立), 147 8, 302 (座位耐性), 154 文献6) 2 (座位耐性), 173 図2つづき (ADL), 176 図3, 177 図4 図説, 231 5, 11-12, 232 6, 10 (排痰), 11 (歩行), 235 図1つづき, 237 下から4, 238 図2 (排痰), 238 図2 (第1歩行), 239 文献5)	訓練	練習
91	下から6, 302 (協調性), 93 図1つづき (協調性), 99 図2つづき (協調性)	訓練	トレーニング
92	図1, 94 14, 97 下から3, 301 (可動域), 98 図2, 200 5	訓練	運動
93	図1つづき, 99 図2つづき	杖訓練	杖使用下の歩行練習
97	下から3, 302	(筋力) 訓練	(筋力) 増強運動
100	文献4)	筋力増強 実際の訓練	筋力増強運動 治療介入
100	文献7)	訓練	運動療法
147	2	抗重力訓練	離床開始時の方法論
159	1	下肢訓練量	下肢運動量
	2	下肢練習量	下肢運動量
169	下から1	回復訓練と代償訓練	回復と代償
170	下から5	訓練	課題
170	下から3	の治療	トルツメ
170	下から3	訓練	治療
171	3	端座位訓練や立位訓練	端座位や立位練習
173	図2つづき	訓練室	理学療法室
174	4, 6, 8, 9, 10	訓練	理学療法
177	本文3-4	訓練	トルツメ
231	下から2-3	説明回数や訓練回数	説明や指導回数
232	本文下から8	-訓練やかかわり方を強化する	-介入を増やす
234	図1	術前訓練・指導内容	術前指導内容
238	図2	(術前) 訓練	(術前) 指導